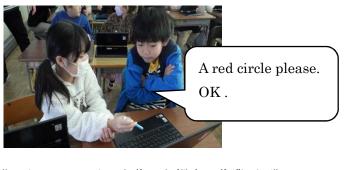
2年生 「色と形」

- 1. 授業の実践記録
 - (1) 英語を用いて主体的にコミュニケーション活動に取り組むための工夫(仮説1) 【学習形態の工夫】
 - ・自信をもって活動し達成感を味わわせるように、ICTを活用したペア活動や全体での発表を取り入れた。
 - (2) 相手のことを考えて、自分の思いや考えを豊かに表現するための工夫(仮説2) 【言語活動の工夫】
 - ・クリスマスツリーを作るという目的意識を友達と共有し、必然性のある言語活動を設定した。 《活動の様子》



《クリスマスツリーを作った児童の作業画面》





- 2. 指導の結果と考察 ○成果 ●課題
 - (1) 英語を用いて主体的にコミュニケーション活動に取り組むための工夫(仮説1)
 - ○クリスマスツリーを作るという目標が児童の興味関心を高め、友達に飾りとなる色や形を伝え たいと思わせる必然性のある場面設定であった。
 - ○完成されたものを見ることで、活動のゴールが明確になり、色と形を使ってクリスマスツリーを 作る意欲を高めることができた。
 - ●ICT を活用したことで、クリスマスツリーを作る作業に意識が向いてしまい、言語活動が少なくなってしまった。

- (2) 相手のことを考えて、自分の思いや考えを豊かに表現するための工夫(仮説2)
 - ○ペアで活動したことで相手意識が高まり、友達と協力して英語活動に取り組む姿が見られた。
 - ○クリスマスツリーを作るために、自分の思いをもって英語を使おうとしていた。
 - ●今後、伝え方について繰り返し練習したり、ALTにアドバイスをもらったりと、児童が安心して学べる手立ての工夫をしていきたい。